

令和8(2026)年度 春季総合体育大会 サッカー競技 実施要項

1 期 日

5月10日(日)、16日(土)、23日(土)、5月30日(土)、6月4日(木)、7日(日)

(予備日) 大会期間中の試合可能日

2 会 場

1 回 戦	5月10日(日)	希望が丘文化公園球技場、近江八幡市立健康ふれあい公園 輝きの杜 SANTOFIELD、滋賀学園高校、近江兄弟社高校浅小井 G
2 回 戦	16日(土)	輝きの杜 SANTOFIELD、近江八幡市立健康ふれあい公園 レイラックフィールド彦根、ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
3 回 戦	23日(土)	希望が丘文化公園球技場、近江八幡市立健康ふれあい公園 近江高校第2G、立命館守山高校
準々決勝	30日(土)	BLB、ニッパツ陸上競技場
準決勝	4日(木)	布引運動公園陸上競技場
決 勝	7日(日)	布引運動公園陸上競技場

3 試合開始時刻(基準) ※ただし、1～3回戦は会場によって試合時間が異なる場合もある。

	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
1 回 戦	10:00	11:30	13:00	14:30
2・3 回 戦	10:00	12:00	14:00	
準 々 決 勝	11:00	13:00	※BLBは10:30、12:30	
決 勝・準 決 勝	11:00	11:30		

4 大会規定

- (1) 試合時間は35—10—35(70分) *HT は前半終了の笛から後半開始までの時間
勝敗の決しないときの次回戦に進むチームの決定方法
*1～2回戦→ペナルティーキック方式(PK戦) *3回戦以降→10-1-10(20分)の延長戦
その後、勝敗の決しないときはPK戦によって次回戦に進むチームを決定する。
※3回戦以降の試合で延長戦やPK戦により試合時間が長引いた場合は、大会本部で協議の上、試合時間を決定する。ただし、試合開始時間までに試合終了の場合、キックオフ時間は変わらない。
- (2) 選手エントリーは事前に提出した25名
試合毎にメンバー用紙で先発選手11名と交代要員9名以内の登録を行う。なお統一されたユニフォーム(カラー、デザイン、プリント等)を使用し、番号は1番～25番とすること
交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインより入ること。
- (3) 各チームにはアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。またアームバンドは単色とし、メッセージの記入は不可とする(キャプテン・C・主将・主は可)。

- (4) ベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、チーム役員6名とし、メンバー用紙にて特定されなければならない。特定された者の中から、その都度1名の者のみが戦術的指示を与えることが出来る。この1名の者は特定の1人に限定される必要はない。
- (5) 選手交代は6名、交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能、ハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない)。延長戦に入った際、交代回数を1回追加するが、交代人数の追加はない。ただし、準決勝、決勝は全国高等学校総合体育大会に準じる。
- (6) 試合中に脳震盪を起こした(疑い含む)選手は、PK合戦・その試合の残り時間に出場することができない。またガイドラインに従い、選手は一定期間試合に出場できない。脳震盪による交代(再出場なし)は、各チーム最大1名までとする。通常の交代人数に関係なく交代できるが、その場合は相手チームに1名分の交代要員、回数が追加される(交代用紙は指定されたもの)。ただし、通常の交代要員として使うことはできない。追加の交代と通常の交代を同時に行う場合、交代回数は1回とはみなさず、それぞれの交代回数としてカウントとする。
- (7) 試合開始70分前に本部にて両チームのユニフォーム確認を行う。審判の判断によりユニフォームを決定する。また、30分前までに、メンバー用紙に交代要員(最大9名まで)・スタッフ(最大6名まで)を含め必要事項を記入して、選手証を添えて本部および相手チームに提出しなければならない。選手証により本人確認ができない場合、その選手は出場できない。また、準々決勝以降は試合予定時刻の80分前にメンバー表提出、70分前から会場内指定の場所でマッチコーディネーションミーティングを行う。
- (8) 選手エントリーの変更および追加は、毎試合最大5名に限り認められる。この場合選手エントリー変更届をメンバー表に付して、本部に提出する。なお背番号の変更は認めない。ただし、インフルエンザ等感染症による選手変更および追加がある場合は、「インフルエンザ等による選手エントリー変更届」に必要事項の記入および公印の捺印をして、試合ごとにメンバー用紙に付して本部に提出する。この場合のエントリー変更は上記の5名には含まれず、上限はない。
- (9) 本大会において主審より退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。出場停止を受けた場合、フィールド、ベンチ、ロッカールーム等の区域に立ち入ることを禁止する。観客席で観戦することは認められているが、他の選手への指示は認められない。
- (10) 本大会において累積された警告が2回となった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (11) ボールについては1・2回戦が4球、3回戦・準々決勝が5球、準決勝・決勝は7球マルチボールシステムで行う。会場に応じて変更することもある。(使用球:ペレーダ)
- (12) その他は「日本サッカー協会規則」による。
- (13) 落雷等による危険事象により審判員や大会本部より試合が中止された場合、再試合を行うことが原則であるが、大会本部の判断で残り時間の消化により試合を成立させることもある。さらに、施設面、安全管理面、日程面等で再試合が不可能な場合、大会本部において試合を成立させること、また抽選等によって勝者(次回戦へ進むチーム)を決定することもある。
- (14) 本大会は全国高校総体予選を兼ねる。優勝チームは全国高校総合体育大会への出場資格を得る。また、本大会の上位16チームは滋賀県秋季高校総合体育大会においてシード権を得ることとする。
- (15) 本大会に不測の事態が生じた場合は、臨時の常任委員会等を開催し、協議する。